

南部アカマツ振興センターの設立

久慈地域は、地域品種である「侍浜松」をはじめとするアカマツ資源が豊富に在り、松くい虫被害の及ばない地域となっております。

しかし、アカマツ材の需要は、輸入材の増加、住宅様式の変化などにより低迷してきました。

そこで、本地域の関係者が一丸となって、貴重かつ優良なアカマツ材の高付加価値化など有利販売の取組みを進め、アカマツ林業の活性化を図ることを趣旨とした「南部アカマツ振興センター」が平成20年7月31日に設立されました。

本組織は、製造販売部門

（森林組合、製材工場）を核とし、調査研究部門（大学、研究機関）、普及調整部門（市町村、県等）で構成されるものです。

「南部アカマツ振興センター」の活動方針は次のとおりです。①高品質な梁材の有利販売 ②側材の高付加価値化、販路拡大 ③二又等の特殊材の商品化、販路開拓 ④天然更新の普及及び優良なアカマツ林の育成 ⑤アカマツ資源のデータベース化、計画的な生産・販売

今後は、アカマツ材のブランド化と販売体制の基盤を整備していく予定です。



写真1 南部アカマツ振興センター設立会議の様子



写真2 天然アカマツたいこ梁の乾燥